

大阪私学  
教育情報化研究会



一般財団法人  
草の根サイバーセキュリティ運動  
全国連絡会  
Grass roots Activity for cyber  
Security - JAPAN

# 高校生ICT Conference 2017

高校生ICT Conference 2017 サミット

高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT×（家族・学校・地域）～

## 開催報告書

2017年11月3日（金） 13:00-17:00

【会場】東京電気大学千住キャンパス

### 主催

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

### 共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁



2017

(高校生 ICT Conference は経済産業省等が主宰する「情報化月間2017」の登録行事です)

## 目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2017 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2017 サミット 開催概要 .....	5
4. 主担当.....	8
5. 高校生 ICT Conference 最終報告会 .....	8

## 1. 開催概要

名称：	高校生 ICT Conference 2017 テーマ：高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT×（家族・学校・地域）～
主催：	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心ネットづくり促進協議会</li> <li>● 大阪私学教育情報化研究会</li> <li>● 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構</li> <li>● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会</li> </ul>
共催：	内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター
協賛：	グーグル合同会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ラック、グリー株式会社、LINE 株式会社、株式会社インテグラル、エースチャイルド株式会社、一般社団法人情報教育研究所、Twitter Japan 株式会社、株式会社ベルパーク、株式会社メディア開発綜研
協力：	アルプスシステムインテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社、学校法人東京電機大学
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&amp;活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。</p> <p>2015 年度は、石川、長野、神奈川、福岡を加えた 9 拠点にて開催し、計 78 校 310 人の高校生が参加しました。2016 年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに北海道帯広、仙台、静岡、新潟、高知を加えた 14 拠点にて開催し、計 107 校 476 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p>

	<p><b>【本年開催テーマのコンセプト】</b></p> <p>IT やインターネットは、その発明の理由は別としても、民間利用においては、それらの技術を用いることで、人々の生活や事業をより効率よく、便利に営めることを目的としています。情報技術に限らず、多くの発明品は同様の背景を持ちながらも、便利さゆえに、安易な利用や悪事への利用などにより、本来の目的にはそぐわない結果を及ぼすこともあります。今年度の高校生 ICT Conference では、私たちの生活を更により良くするために、どのように ICT を利活用すれば良いか、という視点でテーマを設定しました。当然ながら、有意義な利活用とは表裏一体で、負の側面についても配慮が必要であり、より心豊かな生活を実現するために ICT の利活用における「光と影」について、次世代を担う高校生が自ら考える機会とすることを目的とします。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p><b>【各開催地での内容】</b> ※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p><b>【東京サミット】</b></p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p><b>【最終報告会】</b></p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地 募集人員等：	<p>募集参加生徒 30 名（各開催地により変動あり） 募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）</p>
参加参観方法：	<p>参加費・参観無料 [要事前登録]</p>
高校生 ICT Conference2017 実行委員会：	<p><b>【委員長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長）</li> </ul> <p><b>【コアメンバー】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者</li> </ul>

	団体訴訟室長) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 猪股 富美子 (お茶の水女子大学 人間発達科学研究所)</li> <li>・ 植田 威 (特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事)</li> <li>・ 小城 英子 (聖心女子大学 )</li> <li>・ 齋藤長行 (青山学院大学 株式会社 KDDI 総合研究所)</li> <li>・ 他、関係者団体、事業者等</li> </ul> <b>【事務局】</b> 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180
--	--

## 2. 高校生 ICT Conference 2017 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	開催日時	会場
地域開催	北海道 (札幌)	2017 年 10 月 22 日 (日) 11:00-17:00	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	北海道 (帯広)	2017 年 10 月 15 日 (日) 11:00-17:00	とちちプラザ
	宮城	2017 年 10 月 21 日 (土) 10:00-17:00	東北工業大学 一番町ロビー
	石川	2017 年 9 月 23 日 (土) 10:00-17:00	石川県教育会館
	長野	2017 年 9 月 30 日 (土) 10:00-17:00	安曇野市明科公民館
	新潟	2017 年 8 月 17 日 (木) 11:00-17:00	新潟コンピュータ専門学校
	東京	2017 年 10 月 7 日 (土) 10:30-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2017 年 9 月 10 日 (日) 10:00-17:00	学校法人岩崎学園
	静岡	2017 年 9 月 23 日 (土) 10:00-17:00	静岡電子情報カレッジ
	三重	2017 年 9 月 30 日 (土) 10:00-15:00	三重県庁
	大阪	2017 年 9 月 24 日 (日) 10:00-17:00	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
	奈良	2017 年 10 月 1 日 (日) 10:00-17:00	帝塚山大学 学園前キャンパス
	高知	2017 年 8 月 14 日 (月) 9:30-16:30	高知県教育センター分館
	山口	2017 年 9 月 24 日 (日) 10:00-17:00	サビエル高等学校
	福岡	2017 年 8 月 26 日 (土) 11:30-17:00	都久志会館
大分	2017 年 8 月 27 日 (日) 10:00-16:00	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ	
鹿児島	2017 年 8 月 26 日 (土) 10:00-17:00	鹿児島大学	
東京サミット	2017 年 11 月 3 日 (金) 13:00-17:00	東京電機大学千住キャンパス	
最終報告会	2017 年 12 月 11 日	内閣府、総務省、文部科学省	

### 3. 高校生 ICT Conference 2017 サミット 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 116 名の参加者を得て、「<b>高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT× (家族・学校・地域) ～</b>」をテーマに、高校生 ICTConference2017 各開催地域の代表者と福井からの招待参加を含めて合計 18 名の高校生が、各開催地の結果を持ち寄り、3 つのグループに分かれて活発な議論と発表を行ないました。</p> <p><b>【開会の挨拶】</b> 高校生 ICT Conference 実行委員会 委員長 米田 謙三 先生 東京電機大学 学長 安田 浩 様</p> <p>本日の全体進行役の高校生 ICT Conference 実行委員会 委員長 米田 謙三 先生より、高校生 ICT Conference の主旨説明と本日の大まかな流れについてご説明いただきました。また、東京電機大学 学長 安田 浩 様より、ビデオメッセージで開会の挨拶をいただきました。</p> <p><b>【ご来賓挨拶】</b> 内閣府 政策統括官付 青少年環境整備担当 参事官 堀 誠司 様</p> <p>内閣府の堀様からは、次の時代を担うのが本日参加している高校生であり、高校生自身が ICT やネットの問題について議論することは非常に実りのあることであるというお話をいただきました。また、本日の議論では、高校生の皆さんのセンスや考え方、才能を余すことなく発揮して熟議に取り組んでほしいとの激励のお言葉をいただきました。</p> <p>総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政第一課長 徳光 歩 様</p> <p>総務省の徳光様からは、青少年のインターネット利用環境の整備については各府省庁連携して取り組んでいる重要な課題であり、関係府省庁だけでなく、事業者や団体等も含めオールジャパンで取り組んでいるとのお話をいただきました。その中で、熟議を通じて高校生ひとりひとりがネットの問題について考え、取り組んでいくことは非常に大切であること、自宅に帰ってからも家庭や学校等で本日議論した内容について話あっていただき、伝えていってほしいとのお言葉をいただきました。</p> <p>経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 係長 大関 尚人 様</p> <p>経済産業省の大関様からは、本日の熟議では自信をもって議論してほしいということ、また、大人みんなに教えてあげる位の気持ちでディスカッションに取り組んでいただければとのお言葉をいただきました。</p> <p><b>【各開催地域代表生徒の自己紹介、地域の取組の紹介 (各 3 分)】</b></p> <p>アイスブレイクとして各地域代表生徒が持参したお土産の紹介と、自己紹介も兼ねた各地域の熟議内容の報告や招待参加校の取組の紹介を以下の順番で行いました。お土産の選定もよく考えられていてそれぞれ個性豊かに特徴が出ており、また、3 分間という限られた時間の中で、代表の生徒は各地域での熟議の内容を上手に発</p>
----	---

表していました。

- ①鹿児島県立鹿児島水産高等学校 1年 男子
- ②大分東明高等学校 2年 女子
- ③福岡県立博多青松高等学校 2年 女子
- ④高知県立須崎高等学校 3年 女子
- ⑤野田学園高等学校 2年 男子
- ⑥奈良大学附属高等学校 2年 男子
- ⑦関西学院千里国際高等部 3年 女子
- ⑧三重県立桑名北高等学校 2年 男子
- ⑨日本大学三島高等学校 2年 男子
- ⑩長野県立高遠高等学校 3年 男子
- ⑪石川県立金沢伏見高等学校 2年 女子
- ⑫新潟第一高等学校 2年 男子
- ⑬クラーク記念国際高等学校 3年 男子
- ⑭茨城県立土浦工業高等学校 1年 男子
- ⑮仙台城南高等学校 3年 女子
- ⑯北海道釧路明輝高等学校 1年 女子
- ⑰北海道札幌東豊高等学校 3年 女子
- ⑱福井県立敦賀工業高等学校 3年 女子（招待参加）

#### 【グループ熟議・発表資料作成・リハーサル】

進行役の米田先生から本日のファシリテーターの紹介があり、本日の熟議内容の発表までのスケジュール説明がありました。今回のグループ熟議は3つのグループ（家族・学校・地域）に分かれて進められました。それぞれのグループで熟議の進め方やペースは違っていました。付箋を利用して模造紙に貼り付け、項目に分類しながら、役割分担もして工夫しながらまとめていきました。それぞれのグループでICT×（家族・学校・地域）について、熱く議論が交わされました。

#### 【グループ発表】

各グループともプレゼンテーションソフトを活用して4分程度の発表を行いました。各グループの発表タイトルと発表概要は以下のとおりです。詳細については別紙「高校生 ICT Conference2017 サミット発表資料」をご覧ください。

##### グループ1：ICT×家族

グループ1では、「ICT×家族」をテーマに心豊かな生活について熟議を行いました。寸劇を交え、ICTの「良い面」、「悪い面」、「問題点」、「解決策」について発表があり、「まとめ」として、家族が一番身近な存在であり、思いやることが大切との提言が発表されました。

#### グループ2：ICT×学校

グループ2では、「ICT×学校」をテーマに心豊かな生活について熟議を行いました。心の豊かさは個人個人で違うということ、学校は直接つながる場であるということが発表され、ICT（子供）と趣（大人）を情報交換するイベントについて提案がありました。さらに、日本独自の趣という考え方を日本から世界に情報発信していくといった提言が発表されました。

#### グループ3：ICT×地域

グループ3では、「ICT×地域」をテーマに心豊かな生活について熟議を行いました。災害時のSNSの利用について寸劇を交えて発表があり、災害時の対応から地域とICTのつながりについて提言が発表されました。

#### 【講評】

##### 文部科学省 生涯学習政策局 青少年教育課長 土肥 克己 様

文部科学省の土肥様より、本日の講評をいただきました。土肥様からは、ご自身の体験談等も踏まえ、家族が基本的な単位であり、家族でコミュニケーションをすることが重要であるということ、職場でもコミュニケーション不足を感じることもあるが、学校においてもリアルにつながる場とICTの活用が必要であるということ、テクノロジーを活用して地域をつなげるといった発表もあったが、そのような未来においてうまく高校生のみなさんがアドバイスをしてほしいといった、貴重なお話をいただきました。

#### 【代表選考、発表】

今回の参加生徒の中から、12月に開催予定の最終報告会に参加する代表者3名を選出しました。代表校は以下のとおりです。

- ・グループ1：三重県立桑名北高等学校 2年 男子
- ・グループ2：関西学院千里国際高等部 3年 女子
- ・グループ3：福岡県立博多青松高等学校 2年 女子

#### 【閉会の挨拶】

##### 大阪私学教育情報化研究会 会長 井藤 眞由美 様

最後に大阪私学教育情報化研究会の井藤様から閉会の挨拶をいただきました。井藤様からは高校生の熱い議論と素晴らしい発表に対して感謝と、関係者への労いのお言葉をいただきました。また、高校生の発表から、個人個人の豊さを見つけて選んでいってほしいこと、甲羅を破って進んでいってほしいとの激励のお言葉もいただきました。

最後に参加した高校生全員で集合写真を撮影し、進行役の米田先生から今後の説明をいただいて、高校生 ICT Conference2017 サミットを終了しました。



参加校：	北海道札幌東豊高等学校 3年 女子 北海道釧路明輝高等学校 1年 女子 仙台城南高等学校 3年 女子 茨城県立土浦工業高等学校 1年 男子 クラーク記念国際高等学校 3年 男子 新潟第一高等学校 2年 男子 石川県立金沢伏見高等学校 2年 女子 長野県立高遠高等学校 3年 男子 日本大学三島高等学校 2年 男子 三重県立桑名北高等学校 2年 男子 関西学院千里国際高等部 3年 女子 奈良大学附属高等学校 2年 男子 野田学園高等学校 2年 男子 高知県立須崎高等学校 3年 女子 福岡県立博多青松高等学校 2年 女子 大分東明高等学校 2年 女子 鹿児島県立鹿児島水産高等学校 1年 男子 福井県立敦賀工業高等学校 3年 女子（招待参加）（順不同）
日 時：	2017年11月3日（金） 13:00-17:00
場 所：	東京電機大学千住キャンパス
参加人数：	熟議参加生徒 18人 見学者・関係者 98人（教員・教育関係者・その他） 合計：116人

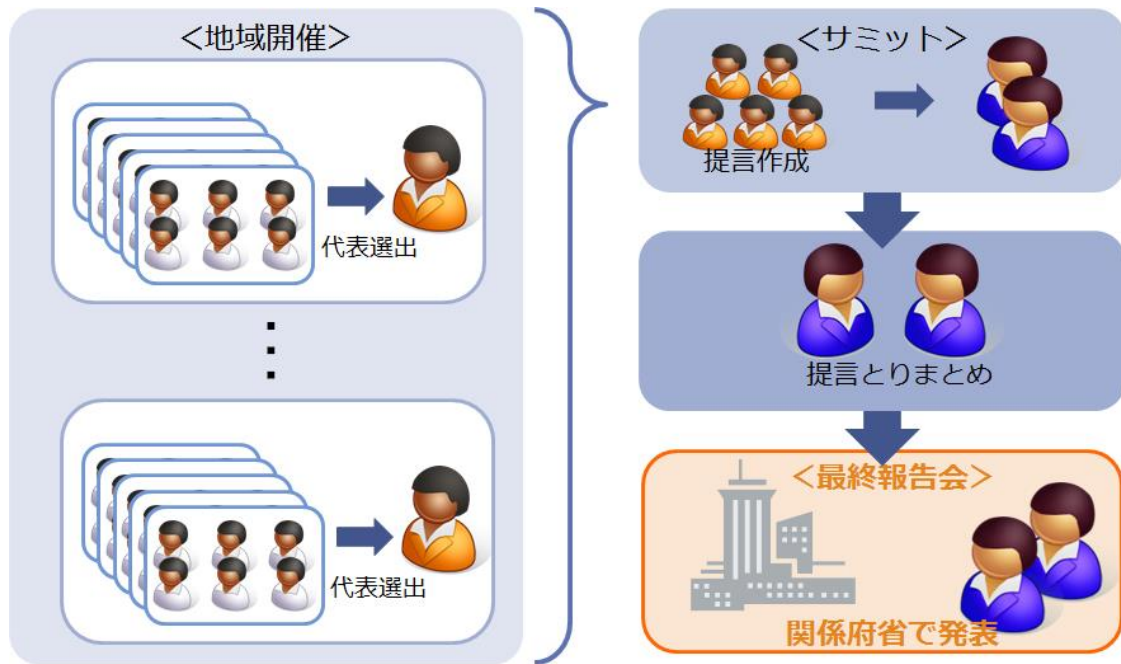
#### 4. 主担当

高校生 ICT Conference2017 実行委員会	司会進行
安心ネットづくり促進協議会	事務局、庶務、撮影等
モバイルコンテンツ審査・運用監視機構	記録、受付等
草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会	庶務等
各団体、事業者等	挨拶、講演、ファシリテーター 他

（敬称略）

#### 5. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2017 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏る。



以上